

第20回 日本社会福祉学会フォーラム

「人口減少社会から考える社会福祉」

ーパラダイム・シフトへの道ー

1 趣旨

現代日本は、少子高齢化を伴いつつ、人口減少社会へと突入した。人口減少の背景は多岐にわたり、未婚化・晩婚化（晩産化）等の出生率の低下や子育てコストの増大、高齢者の増大による年金・医療・介護の増大、労働力の減少（特に若年者労働者）、地域社会の衰退等があげられている。それらに加え、コロナ禍の影響もあり、非正規雇用の置かれた状況の脆弱さ、中間層の縮小、格差と貧困の拡大等が複合化した社会問題としてあらわれる。このような中で、全世代型社会保障の構築が急務な課題となっており、少子化、高齢化、現役世代の減少等を見据え、税制改革も一体的な含めて社会保障体制の改革がおこなわれている。同時に人口減少社会は、かつての地域社会でみられた相互扶助や助け合いは縮小し、地域社会の衰退に拍車をかける。そのため地域共生社会や地方創生の取り組みが重要となる。このような状況下において既存の社会保障・社会福祉のパラダイムを社会保障・社会福祉政策立案・実施体制や、ひろく人口政策、税制・財政政策等の観点から議論する必要性がある。そして将来のあるべき社会保障・社会福祉を展望するための要諦となるような議論が必要であろう。そこで本フォーラムでは、「人口減少社会から考える社会福祉ーパラダイム・シフトへの道ー」として、人口減少社会を鍵としつつ、既存の社会保障・社会福祉を問い直し、将来の社会保障・社会福祉のパラダイム・シフトにつながるような議論を展開したい。そのため基調講演では、人類学、進化心理学の立場から既存の社会の仕組みや仕掛けがどのようにあり、将来どのような仕組みがデザインできるのかを展望も踏まえ既存社会の問題を提起する。基調講演の問題提起を踏まえ、シンポジウムでは、これまで社会保障・社会福祉が抱える問題・課題をさまざまな分野の研究者・実践者から発題をいただき、人口減少社会から社会保障・社会福祉のパラダイム・シフトにつながるような議論を展開したい。

2 主催

一般社団法人日本社会福祉学会
一般社団法人日本社会福祉学会・北海道地域ブロック

3 後援（予定：順不同）

日本学術会議、北海道社会福祉協議会、札幌市社会福祉協議会、
北海道医療ソーシャルワーカー協会、北海道介護福祉士会、北海道社会福祉士会、
北海道精神保健福祉士協会、北海道、札幌市

4 日時

2024年3月2日（土） 13：00～17：00

5 会場

札幌学院大学新札幌キャンパス（Zoomとのハイフレックス開催）
（〒004-8666 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1）

6 対象

一般社団法人日本社会福祉学会会員及び会員以外の方でテーマに関心のある方

7 参加費

無料

8 プログラム

12:00 受付

13:00 開会 総合司会 大友 芳恵 (藤女子大学 教授)

13:00~13:10 会長挨拶 空閑 浩人 (同志社大学 教授)

13:10~14:10 基調講演 (60分)

人類の進化・適応と社会の課題

長谷川 真理子 (総合研究大学院大学 名誉教授)

14:10~14:20 休憩 (10分)

14:20~16:50 シンポジウム (150分)

人口減少社会から考える社会福祉—パラダイム・シフトへの道—

井手 英策 (慶応義塾大学 教授)

岡部 卓 (明治大学公共政策大学院 教授)

竹田 匡 (釧路町ふるさと納税推進室 主幹)

山田 英孝 (津別町社会福祉協議会 会長)

コメンテーター 長谷川 真理子 (総合研究大学院大学 名誉教授)

コーディネーター 松本 伊智朗 (北海道大学教育学院 教授)

16:50 閉会挨拶 伊藤 嘉余子 (大阪公立大学 教授)

17:00 終了

*プログラムの進行上、時間が多少ずれる場合もあります。

9 申し込み方法

Web フォームにて事前参加申込を受け付けます。

詳細は、学会 HP をご確認ください。

*要約筆記はあります。

10 問い合わせ先

フォーラム運営開催地事務局 (主お問い合わせ先)

日本社会福祉学会北海道地域ブロック事務局 担当: 近藤

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757 (北海道医療大学看護福祉学部内)

E-mail n-kondo@hoku-iryo-u.ac.jp

日本社会福祉学会大会ヘルプデスク (フォーラム)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター ((株)国際文献社内)

FAX 03-5227-8632

E-mail jssw-forum@conf.bunken.co.jp